

山岳ぐんま



一般社団法人 群馬県山岳・スポーツクライミング連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0031 前橋市下小出町 2-46-1 (小池寛喜方) tel 027-235-9247 E-mail : info@gunmaken-sangakurenmei.net



top News

「誇りと自覚」 新連盟発足にあたって

一般社団法人 群馬県山岳・スポーツクライミング連盟会長 吉田直人



1941(昭和16)年、群馬県山岳連盟の前身である群馬県山岳聯合会が設立された。7年後の1948(昭和23)年、群馬県山岳連盟に改称、群馬県山岳聯合会から数え80年を超える永きにわたり群馬県山

岳連盟の旗の下、先人たちの熱意と努力で大いなる峰々に足跡を刻み、一時代を築いてきた伝統ある群馬県山岳連盟の名称を、理事の皆さんや加盟団体の皆さんのご理解を頂きこの度、一般社団法人群馬県山岳・スポー

ツクライミング連盟（以下 GMSCF）に改称いたしました。

スポーツクライミングを加えたことで競技団体色が濃くなり、来たる 2029(令和 11)年、群馬国スポの成功に向けて弾みがつけられると思います。

未来のアスリートを目指す子供たちを育てる事業として県スポーツ協会で行っているスーパーキッズプロジェクトの選考会や体験会はいつも盛況で若年層における人気の高さが定着している感があり、GMSCF としてもこの機会にスポーツクライミングが更に発展するよう協力していきます。

また、われわれの一番の「強味」である山岳につきましては、これまでどおり各委員会の委員長を核に安全登山や自然保護の普及、啓発、ジュニア育成等々、自覚をもって加盟団体の会員を引っ張り、更にパワーアップしてこの連盟を前進させてほしいと思います。

もうひとつ、今回法人化に踏み切りました。時代の流れといえばそれまでですが、これからのスポーツ団体はますます透明性や公正性が要求されることはあきらかです。難しく考えず、手間はかかるが、あたりまえのことをするという事です。あたりまえの行為の積み重ねが結果として社会から信頼され認められるのだと信じています。

それから、この団体を維持継続させていくにはお金も必要です。法人化により収益事業も可能となりました。みんなで知恵を出し合い、収入を増やし、必要な財源を確保し GMSCF の安定した運営を全員で取り組みましょう。

未来の GMSCF を創造し、多様性に満ちた自由で平等な組織が私は理想と考えます。誇れる団体をめざし理事の皆さんと一緒に汗を流し理想に近づけたいと考えます。

法人化と名称変更

2023年4月1日、群馬県山岳連盟は一般社団法人群馬県山岳・スポーツクライミング協会として新たな一歩を記した。それに先立つ2月25日には群馬県庁昭和庁舎（前橋市大手町）で設立総会が開かれ、法人化と名称変更に必要な第1号から第3号までの3議案が審議され、すべて原案通り承認された。

法人化・名称変更への道は平坦ではなかった。組織マネジメントやガバナンス、そしてコンプライアンス上からもスポーツ団体の法人化が迫られていた。またスポーツクライミングが東京オリンピックの種目になるなど、山岳団体を取り巻く環境も大きく変化していた。隣県の埼玉や栃木の岳連も先行して法人化と名称変更して

いる。

群馬県山岳連盟でも長年にわたる議論を経て、名称変更と法人化の方向に舵を切り、理事会で決議し、動き出していたのだが、2020年に始まったコロナ禍がその実行にストップをかけていた。組織の根幹にかかわる大きな変更である。理事会もその後は書面開催が増え、さらに対面式の総会が

開られない中での重要事項の決定は難しくなっていた。

しかし、長期化し、まだ先が見通せないコロナ禍が続く中ではあったが、岳連の法人化・名称変更はいよいよ喫緊の課題となり、2022年5月28日、前橋市総合福祉会館で開催された定時総会に、23年4月1日をもって一般社団法人化し、同時に団体名称も「群馬県山岳・スポーツクライミング連盟」とする議案が上程された。審議の結果、議案は承認され、①23年4月1日をもって一般社団法人化する②名称は群馬県山

岳・スポーツクライミング連盟とする③定款の修正は理事会に一任する④すべての財産を新法人に移行するという4点が決定した。

そして22年10月5日の常任理事会と同12日の理事会で、23年4月1日の法人化に向け、英語表記も含めた名称の詳細や移行に向けたスケジュールなどの基本項目と具体的な組織体系案などを確認し、その骨子が固まった（124号で既報）。また、新しいロゴマー

クを公募することも決定し、上毛三山をイメージした3つの三角形に尾瀬のミズバショウを組み合わせた、目黒道弥さん（前橋市）の作品が選ばれた。

4月1日は特別なセレモニーはなかったが、深夜0時をもって公式ホームページの題字が新しいロゴを使った新名称に変更され、ホームページ内の団体紹介ページなども差し替えられ、新岳連としての1日目が静かに始まった。



一般社団法人「群馬県山岳・スポーツクライミング連盟」設立総会で議案を説明する佐藤光由理事長（2月25日・群馬県庁昭和庁舎）



新しいロゴマークを作った目黒道弥さん（左）

【速報】八木原顧問が旭日小綬章

4月29日付で春の叙勲受章者が発表され、群馬県山岳連盟と日本山岳・スポーツクライミング協会の前会長で、ともに現顧問の八木原昭明氏が、旭日小綬章（スポーツ振興功労）を受章した。八木原氏は1970年代のダウラギリからエベレスト南西壁までの群馬県山岳連盟を中心に、ヒマラヤ登山をリードし、日本登山史に偉大な足跡を残してきた。2015年には公益社団法人日本山岳協会会長に就任し、日本山岳・スポーツクライミング協会への組織改革をリードするとともに、東京五輪の種目にもなったスポーツクライミングに注力した。上毛新聞のインタビューに「山岳文化の継承に力を注ぎたい。受賞は山の友や家族のおかげ・・・」とコメントを寄せている



株式会社エーアールアイ
東京都練馬区上石神井 3-18-1
TEL 03-5991-4638

弱電工事承ります。
電話工事、ネットワーク工事及びセットアップ(LAN 及び Wi-Fi 環境)、
TV アンテナ及びケーブル工事
パソコンで悩んでいませんか？
ソフトの使い方はわかりませんが、ハードの悩みは相談してください。
(難しい故障の場合は外注となります。)

ミヤマネットワーク

代表 佐藤光由
群馬県前橋市高花台 1-6-5
電話 027-269-1143 携帯 090-8842-2158

チャレンジキッズプロジェクトの活動

子どもたちがワクワクしながら、達成感を味わえる自然体験活動を提供します！
四季折々の自然体験活動を通して、自然の素晴らしさ自然の大切さを伝えていきます！
登山を中心とした安全な自然体験活動ができるよう、登山の基本をお伝えしていきます！



ツツジのトンネル大猿川周回



赤城・大猿川周回コースで地図を読む



榛名・相馬山登山



玉原高原 雪遊び



川田ゲレンデ岩登り体験



尼ヶ禿山スノーシュー登山

<2023 年度の活動予定>

- 5/13 (土)：利平茶屋キャンプ場～長七郎山
 - 8/19 (土)～20 (日)：尾瀬ヶ原～至仏山登山 (山小屋泊)
 - 10/28 (土)：自然観察と岩登り体験 (沼田市川田町)
 - 2024 3/2 (土)：宝台樹雨呼山・大幽洞窟スノーシュー
- ※ 2023 年度も「子どもゆめ基金助成活動」予定

[群馬県山岳・スポーツライミング連盟・ジュニア委員会担当者]
阿部悦子：Tel 090-7223-6956 Email:nouiku@hotmail.co.jp
金子一実：Tel 090-5784-1005

雪の玉原で遊び学ぶ [2023.3.11] ブナ平スノーシュー



壊したくなかったイグルーで記念撮影



オオカメノキの観察



ブナ平を目指して登る



ツリーホールの観察をし解説を聞いた後はコンパスで下る方向を確認する

鹿俣山スノーシュー登山



9:15 登山開始 (スノーシューの装着)



10:00 ブナ林の中で、季節によって変化する木々の特徴・種類を説明 (自然環境)



13:15 鹿俣山山頂で記念撮影後、下山開始



15:15 閉会式 修了証と缶バッジ授与

2022年度登山教室スノーシュー講習 実施報告

指導委員会 対比地 昇

3年ぶりのスノーシュー講習を2023年2月25日(土)に実施した。秋に実施した登山教室の参加者を対象に募集し10名の申込があったが、その内3名がキャンセルし、当日は7名(男2名、女5名)の参加であった。当初は二班編制で実施する予定であったが、参加者が減ったため一班編制とし、講師4人で引率した。場所はこれまでと同じく玉原湿原周辺。2月17日に5人で下見をしたが、その時と同じコース(図参照)を歩いた。

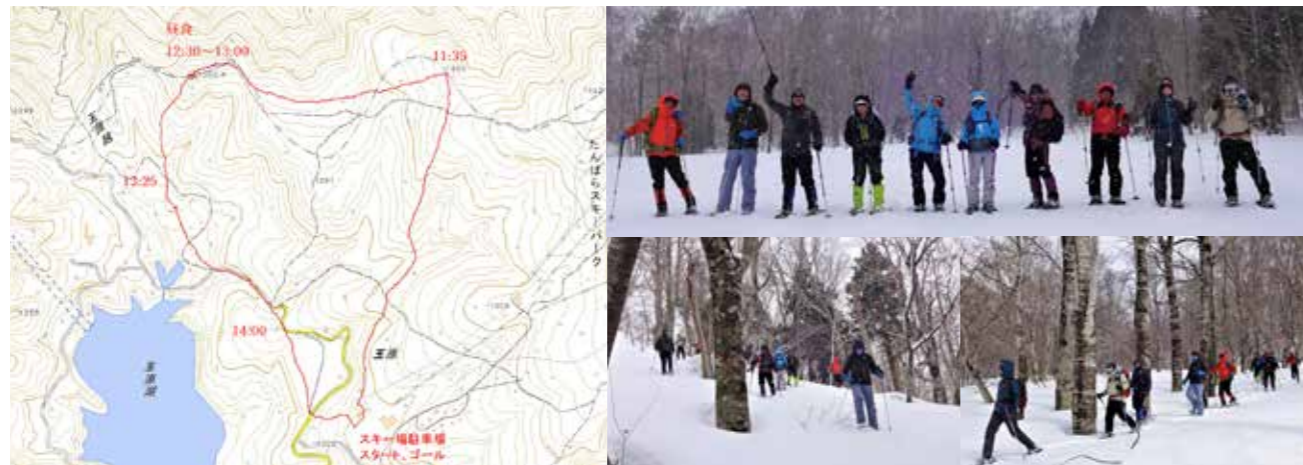
班長は根岸仁、副班長:小池寛喜、田中洋史、対比地昇という講師陣で、読図とコンパスワークを中心に講習を実施した。参加者一人一人先頭を交代しながら、登山道のない雪上をコンパスや地形を頼りに歩いてもらった。地図とコンパスで現在地の確認や進行方向と地形の特徴を把握して、それらを確認しながら歩くというナビゲーション技術の修得を目指した。天気は曇り気温低め、風が強く時折雪が舞ったが、視界はそれほど悪くはなく、進行方向の目標を定めるのに苦労することはなかった。

秋の登山教室で学んだことを忘れてしまっている参加者もいて戸惑う場面もあったが、寒い中、熱心に学ぼうという真剣さが伝わってきた。また、終了後のにこやかな表情から雪山ならではの面白さと達成感も感じていただけたものと思っている。

最後に集合場所として駐車場をお借りしている萬屋建設さんやスノーシューをお借りしている尾瀬高校さんには今回も快く対応していただき感謝申し上げたい。

通過時刻記録

駐車場スタート [9:00] … 1323m 地点 [11:35] … 1302.5m 地点 [昼食 12:30 ~ 13:00]
… 湿原 [13:25] … センターハウス [14:00] … 駐車場 [14:20]



アルファ化米
乾燥米飯

nozomi foods Co., Ltd.
あなたの安心を支えるWei-heart
<https://www.nozomi-f.jp>

チームレスキュー講習会レベル0

遭難対策委員会

今年度、遭難対策委員会では2段階のレベルでチームレスキュー講習会を開催します。今回開催のレベル0ではチームでレスキューってどのように行うのか・行動中に自分の安全をどのように確保するか、必要なロープワークから学べます。レベル0では実際の搬送は行いませんので初めての方でも初心者の方でも参加歓迎です。

次回10月開催予定のレベル1では実際に山中にて搬送を行う予定です。

開催日時: 2023年5月28日(日)(雨天室内)
開催場所: 沼田市周辺の登山道及び施設にて予定
集合場所: 参加者に個別に連絡いたします。

講師: 遭難対策委員長 櫻澤齊 他、日本スポーツ協会指導員、遭難対策委員
参加資格: 高校生以上でチームレスキューに興味がある 初心者の方
参加費: 8,800円(保険料含む)

※(一社)群馬県山岳・スポーツクライミング連盟所属の方は参加費4,000円となります。参加費は当日持参願います。領収書が必要な場合はお申し出ください。

申し込み方法: ゲーグルフォームにて申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/CzKAzykxVPhkbGEJ8>

申し込み集計完了次第 記載頂いた返信用eメールアドレスに送信いたします。
開催日3日前までに返信の無い場合はお手数ですが下記メールアドレスまで連絡ください。
遭難対策委員会 委員長 櫻澤 齊 (soutai.gunma.in@gmail.com)

申し込み期間: 2023年5月21日迄

募集人数: 15名 定員になり次第受付は終了いたします。

持ち物: ヘルメット・皮手袋・動きやすい靴・筆記用具

【注意事項】

講習会においては安全確保を万全に行うようにいたします。しかし、残念ながら事故が起きてしまった場合は医療機関に引き渡すまでのできる限りの応急処置を行います。申し込みにより加入頂いた保険による保証のみとさせていただきます事をご了承ください。画像動画等の撮影は行ってかまいませんが個人の使用にとどめていただいて SNS また公に公開することはおやめください。当日 体調が悪い方は遠慮なく欠席の申し出をしてください。



群馬県山岳連盟個人会員 2023年度新規会員募集

- 安全登山の普及活動の一環として自立した登山者を育成し、安全登山の啓蒙に努めます。
- 山の勉強会(座学)を年11回、実技登山を年11回実施します。

参加資格: 山岳連盟未加盟の18歳以上で、登山を始めたい人や登山を楽しんでいる人
年会費: 群馬県山岳連盟会費(登録料)5,000円/年
その他: 山の勉強会参加費 500円/回(教材費)、実技登山参加費1,000円/回
※交通費、宿泊費等がかかる場合があります。

会員数: 58名(男29名、女29名)2023/03現在

申込・問い合わせ: E-mail: kojin.gmscf@gmail.com (個人会員委員会 根岸まで)

群馬の山

9

平標山・仙ノ倉山

平標山は谷川連峰の最西端に位置する。その東に続く仙ノ倉山との稜線はなだらかな広いハイマツ帯で6月から8月にかけて、お花畑を形成する。平標山および仙ノ倉山の山頂は広く平らで、森林限界を超えているため展望がよい。

平標山へは元橋から松手山を越える松手山コースか、平元新道を使い平標山の家を経由して山頂に至るルートがあり、また土樽からの平標新道はロングコースとなっている。



平標小屋から平標山へ（6月）

難易度B / 体力度4

町営駐車場→〈1:10〉林道・平元新道分岐→〈1:20〉平標山の家→〈0:50〉平標山→〈0:50〉仙ノ倉山→〈0:50〉平標山→〈0:50〉松手山→〈0:40〉鉄塔→〈0:50〉町営駐車場

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース」

群馬の山歩き
ベストガイド

安心して歩ける126コース



定価 1400 円 + 税

ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編
記集

法人化と名称変更という「岳連」の歴史の中でも大見出しで扱われるような一大イベントは現在進行形で続いている。それは設立総会という一点の通過儀礼では終わらない。『山岳ぐんま』を担当する編集委員会も広報委員会と名前を替え、公式ホームページのタイトルロゴや『山岳ぐんま』の題字は変わったが、これからはその名にふさわしい活動を、一步一步次元を上げて目指していきたい。そのための新しい岳連広報を担う新委員を募集中です。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026